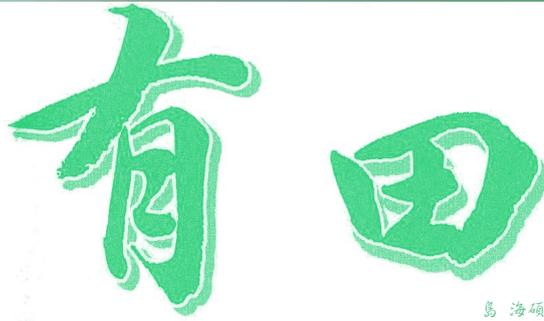


No.2875

2017-2018年度
会長 成川 守彦
幹事 橋本 拓也
R広報委員長 應地 正章
担当：菅原委員



島海碩 書

第2640地区
例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創立 昭和34年6月15日
ホームページ http://www.aridarc.jp
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

- 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



2017-2018年度クラブ方針
ロータリーを知ろう

～温故知新～
次回のお知らせ



本日のプログラム
平成30年7月5日 第2876回
・初例会 新旧会長幹事引継
上野山栄作会長 運営方針発表
・ソング:「君が代」「奉仕の理想」

平成30年7月12日 第2877回
・委員会活動計画の発表
・ソング:「それでこそロータリー」

前回の報告 (第2875回例会)

開催日 平成30年6月21日(木)

点鐘 (成川(守)会長)

ゲストの紹介 (上野山(捷)親睦活動委員長)

ゲスト:于咏様(よねやま親善大使)、董涛君

永年功労表彰

石垣洋介君:40年永年功労表彰

成川守彦君:40年永年功労表彰



松村直前会長より成川守彦君に記念の楯が贈られました。



成川(守)会長より、石垣洋介君に記念の楯が贈られました。

本日は40年功労表彰をいただき誠にありがとうございます。私がロータリーへ入会させてもらったのは、青年会議所を昭和53年3月に卒業した1ヶ月後でした。スポンサーは箕島信用金庫理事長の玉置洋治氏で、丁度ロータリー創立20周年の年でした。当時の情報委員長は平松龍雄氏で例会出席について特に厳しく指導されたのを今でも覚えています。

ロータリーに入会して良かったことは、異業種の職業に携わる先輩や良き仲間めぐり合い、いろんな人生勉強をさせてもらったことです。今は長い間お世話になったロータリーへの感謝の気持ちで頑張っております。ありがとうございました。

40年功労表彰、ありがとうございます。

石垣君と私、それからきのくに信金の柿木さんと、3人同時入会でした。私は、36歳の入会でした。それから40年。私はロータリーに入会して、大きく成長させていただきました。多くの世界中のロータリアンの皆様とご縁をいただきました。ロータリーは素晴らしいと思っています。それで、ロータリーにお礼をさせて戴きました。

あと何年、ロータリーをENJOY出来るか分かりませんが、よろしく願い申し上げます。



会長の時間 (成川(守)会長)

本日は、2017-18年度の最終例会です。会員皆様、並びに事務局高松様のご支援ご協力のおかげで、なんとか会長としての最終例会を迎えることが出来ました。衷心より感謝申し上げます。

今日も歌っていただきましたが、昨年(2017)の7月6日、第一例会で、It's a small world(小さな世界)の曲を流し、一緒に

歌ってもらいました。

そして、会長の時間では、「盲亀浮木の譬」、「人間の誕生、精子と卵子の受精」を話し、せっかくだいたこの命、そして、ロータリーでいただいたこのご縁を大切に、ロータリー活動に、そして、これからの人生に向かい合っていきたい、向かい合っていたいだきたいと話しました。この1年、本当にそのような1年でした。多くの出会い、ご縁をいただきました。



私の相棒、今年度の橋本幹事さんには、本当に大変お世話になりました。大変良く気が付き、文章作成が上手く、特に外部卓話の方へのお礼の手紙は、いつも的を射ており、感謝の気持ちが十分込められており、感心させられました。又、数字にも強く、会計のことは全部お任せしました。有能に幹事の仕事をこなしていただいたおかげで、無事この一年を乗り切ることが出来ました。深く感謝しております。

さて、一年を振り返ってみますと、クラブ会員数は、7月に木本君、丸山君、田端君の3名が入会され、9月のガバナー公式訪問の日に児嶋君、菅原君が、10月には原君が入会され、32名になりました。しかし、残念ながら、3月に酒井君、4月に田端君が転勤のため退会されました。幸い田端君の後任の福原君が入会されたので、現会員は31名となり、昨年度の26名から5名の増強になりました。

今年度の私のクラブ方針は「ロータリーを知ろう！～温故知新～」とさせていただきます。

1905年2月23日のロータリーの誕生から112年の今年度、最近ではロータリーの歴史を知る機会が減っています。ロータリーを知るには、先ずその歴史を知り、ロータリーの変遷を知ることが第一です。ロータリーは、いくつかの大きな曲がり角、変革を経て、今日のロータリーに発展しました。しかしながら、2016年の規定審議会の結果を見ても、今なおロータリーは大きく変わろうとしています。

今年度の会長の時間は、ロータリー用語の説明を中心に話しました。ロータリーカレッジでは、ロータリーの歴史の勉強をしました。

卓話は、6月の委員会活動報告で各委員長様から報告して頂きましたが、各委員会には、ロータリーの特別月間に関係するテーマの卓話を計画していただきました。

又、最近、RIは、My Rotaryやロータリークラブセントラルに力を入れています。それで、ロータリーショーケースへ、

- ①ミャンマーにおける有機肥料を使った職業訓練事業
- ②ロータリーデーの「有田市の活性化に米山奨学生が一役」
- ③有田川クリーン作戦
- ④植樹

の奉仕事業を投稿しました。ここに投稿すると世界のロータリークラブで観ていただくことになります。言語は37ヶ国

語に翻訳されます。

次いで各委員会につきまして、お礼を述べさせていただきます。委員長・委員のお名前は省略させていただきますので、ご了承ください。

この一年間、SAAと例会運営委員会の皆様には、早くから例会場へ来ていただき、設営と会の進行に努めて頂きました。特に中元SAAには、毎回、分刻みの例会進行次第を作成していただき、BGMを流し会場の雰囲気づくりにも気配りをしていただきました。例会の座席では、自由席では毎回同じ会員が座ることになるので、委員会別、アルファベット順、誕生日別、入会月別に適宜実施し、会員間の親睦がより深まるよう努力していただきました。又、ロータリーソングでは今年度のクラブソングである「It's a small world」や最近歌っていない英語の「ROTARY」「われら日本のロータリアン」、童謡、唱歌等を入れていただきました。

クラブ奉仕委員会の上野山英樹委員長には、クラブ奉仕の各特定分野の委員会を纏めてくださいました。又、最近のクラブの状況を把握していない私の相談相手になっていただき、適切な助言をいただきました。ありがとうございます。

会員組織委員会は、近年の職業形態に合うように職業分類表の見直しをしていただきました。会員増強は委員会だけの問題ではなく、会員全員のテーマであります。幸い今年度は会員皆様のお陰で、6名の新会員をお迎えすることが出来ました。

情報研修員会では、入会予定者へのレクチャー、クラブ内規の慶弔規定の一部改定、2回のIDMの開催、ロータリーカレッジの開催をしていただきました。その上、脇村委員長は2018年決議案の提案をしていただき、地区の承認を受け決議審議会に提案しました。地区では当クラブからの提案のみでした。

例会運営委員会では、会員一人ひとりに例会が楽しい時間であるように、意味のある時間であるようにと、プログラム構成と雰囲気づくりに気を配っていただきました。年間例会回数41回を大きなトラブル無く運営していただきました。外部卓話として、仁坂和歌山県知事はじめ様々な分野で活躍されている15名の方にお出でいただきました。食事についても「百万ドルの食事」を2か月に1回実施し奉仕活動への寄付を増やしていただきました。特に橋爪委員長には、素晴らしいアイデアで例会を盛り上げていただきました。今日も、懇親会では彼の素敵な演出があります。

親睦活動委員会では、誕生日お祝い例会に、ノンアルコールビール・ワインで乾杯を行っていただきました。そして、10月の満月には、ススキと月見団子、琴と尺八の演奏という演出の「月見例会」、新年例会は、東京からシンガー聖子様を迎えての「ディナーショー」、4月には親睦家族旅行として京都の素晴らしい桃源郷ならぬ「原谷苑の桜源郷」を訪ね、夜は「木乃婦」で京懐石をいただきました。そして、本日は最終例会で、ナチュラルシンガー&ソングライター宝子様を迎えての懇親会です。橋爪副委員長には特段のご協力をいただきました。ありがとうございます。

ロータリー広報委員会では、読みたいくなる週報を作成し

ていただき、ロータリー友誌の解説、ガバナー月信の紹介をしていただきました。週報の校正ではLINEを活用していただきました。特に週報作成では高松様には大変お世話になりました。9月の「ロータリーの友月間」には、ロータリーの友(前)編集長 二神 典子様をお招きして卓話「ロータリーと私」を、又「基本的教育と識字率の向上月間」として、元 和歌山県学童保育連絡協議会事務局長・現 藤波学童クラブ代表 栗生 千佳様をお招きし「今、小学生が抱える問題」の卓話をいただきました。

職業奉仕委員会では、ロータリー活動の原点である職業奉仕の探求のため、1月の「職業奉仕月間」にローテーションデーとして成戸文子会員の「ふみこ農園」を訪問しました。12月の「疾病予防と治療月間」には、中村吉伸先生に「フレイル」についての卓話を、3月の「水と衛生月間」には、海南東RCの寺下卓様に「フィリピン・セブ島周辺の離島の水支援」について長年の活動を報告してもらいました。

社会青少年奉仕委員会は、7月の有田川ク リーン作戦に始まり、「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金運動、「九州北部豪雨 義援金」への協力や米山奨学生董涛君による箕島中学校2年生98名への中国紹介事業、保険代理店、内科医、眼科医、葬祭業、石油工業の5名の会員による箕島中学校1年生81名への職業紹介事業、ウエノ公園への植樹等、数々の奉仕事業を実施していただきました。そして、10月の「経済と地域社会の発展月間」には、有田市文化財保護審議委員 紀州有田商工会議所 元専務 御前明良様に「100年を生きる世界的大発明“蚊取り線香” 上山英一郎の先見性と鶏口牛後の事業魂」の卓話をいただきました。

国際奉仕委員会は、ロータリー財団地区補助金を活用し、2017年11月22日から26日にかけて、嶋田団長以下4名の皆様が「ミャンマー連邦共和国のバゴー管区・KYUN THONE PIN村で有機肥料を使った職業訓練」を行っていただきました。2月の「平和と紛争予防／紛争解決月間」には、JICAの足立朋実様をお招きして「イスラム教徒は怖い？」と題して卓話をさせていただきました。

2018年6月23日(土)～27日(水)のトロントでの国際ロータリー年次大会へ、当クラブより3会員が出席いたします。国際大会には、175か国から24,000人が参加します。

ロータリー財団委員会は、国際奉仕委員会と協力し、「ミャンマーにおける有機肥料を使った職業訓練事業」を実施していただきました。又、普通寄付と特別寄付をお願いし、当クラブの年次寄付の目標達成(\$200 / 1人)に努めていただきました。(結果:140\$ / 1人) 11月の「R財団月間」に因んで、9日に酒井(前)委員長が「R財団について」、30日に、永田雄治様(陸前高田RC)をお招きし「インド・ポリオワクチン投与活動は」の卓話していただきました。

米山記念奨学会委員会は、「有田市の街おこしPR運動」の一環として、8月31日をロータリーデーと定め、委員会と米山記念奨学生 董涛君のカウンセラーである橋本幹事が中心になり、会員、董涛君と地区内の米山奨学生・学友(10人)、市役所、商工会議所、観光協会、地元業界紙など総勢50人で地ノ島神社の整備と修復やトイレの清掃など「地ノ島クリーンアップ作戦」を実施していただきました。その後、米山奨学生や米山学友はSNSなど

で母国の知人などに発信して有田地方の国際的なPRしていただきました。又、10月の「米山月間」にはロータリー米山記念奨学会事務局 武本 泰子 様をお招きし「世界に平和の種をまく」と題して卓話していただきました。そして、今日、よねやま親善大使の于(う)咏(えい)様をお迎えして、「報恩・奉仕・繁栄」という演題で卓話をいただきます。

このように会員全員が力を合わせ、委員会活動を活発に行うことにより、久しぶりの国際奉仕事業をはじめ、ロータリーデーや植樹など多くの奉仕活動を実践し、より親睦を深めロータリーライフを楽しむことが出来ました。厚く御礼申し上げます。

.....

さて、我々ロータリアンは、ボランティアとして多くの奉仕活動を行っていますが、マザー・テレサさんは、「私たちは、何か身体(からだ)を使って奉仕することや金銭的に支援することを、ボランティアであると勘違いしています。」と話されています。この意味は、お判りでしょうか？

マザーは、「私たちは、何か身体(からだ)を使って奉仕することや金銭的に支援することを、ボランティアであると勘違いしています。けれども、そこに心から溢れ出る愛がなければ、喜びも平和もない」と言います。たとえ小さなことでも、そこに心をこめて行うこと、その大切さをマザーはいつもおっしゃっているのです。

貧しい人たちは、互いにわかち合うことを知っています。一方で豊かな人々は、自己の欲望にこだわるあまり、他人とわかち合うことをしません。ただ自分の身を守ることばかりを考え、他人を思いやろうとはしません。「だから貧しいことは、美しいことなのです。私たちは貧しい人に学ばなければなりません」とマザーは伝えます。互いにわかち合う喜び。そこにこそ人間としての幸せがある。多くの人にその喜びを知ってほしいとマザーは言います。

インドでの話です。

ある時期、お砂糖がなかなか手に入らないときがありました。砂糖がなくてはチャイも美味しく飲めません。そのことを知った4歳の男の子がいました。男の子は家に帰って母親に言いました。「お母さん。僕は今日から3日間、お砂糖を使うのを我慢するよ。そしてその分を、マザー・テレサの子どもたちにあげたいんだ」

単純ですが、子どもにとってはかなりの辛抱を強いられることです。そして3日後、男の子は母親に手を引かれてマザー・ハウスに砂糖を届けにやってきました。それは、小さな瓶に詰められたほんの少しのものでした。でも、マザーはこのことを本当に喜んでいました。「たくさんの物がいいというわけではありません。大切なことは、自分を犠牲にしてわかち合うという心です」

マザーは話します；

あるとき、私は国内で養護施設のドキュメンタリーを見る機会がありました。障害を抱えた子どもたちが、一生懸命に運動会で走っている姿です。「よーい、どん！」で子どもたちが走り出す。障害があるために、すぐにつまずいて転んでしまう子どももいます。それでも一生懸命に走っています。あるレースで、2人の子どもが競うように走っていました。どちらも不自由な身体で一生懸命がんばっています。すると1人の子どもが転んでしまったのです。普通

ならば、転ばなかったほうの子どもは、「よし、やったあ」と得をしたような気持ちになるでしょう。しかしその子は走るのを止め、引き返して転んだ子どもを助け起こし、手をつないで走り始めたのです。その光景を見たとき、私は思わず泣いてしまいました。その子の行動に深い意味はありません。ただ大切な友達が目の前で転んでしまっただけで困っているから、助けてあげよう。一緒に走るのだから。それだけなのです。実はこれがボランティア精神の原点なのです。

このマザーの言葉は、奉仕の原点だと思います。自分の古着を貧しい人々に与える。食べ残したものを与える。それはわかち合うということではありません。自分自身が痛みを覚えてこそ、わかち合うということになるのです。愛には痛みがともなうとはそういう意味なのでしょうね。

マザーは話します；祈りとは、3つのことです。

1つは「ありがとう」という感謝の心。次には「ごめんなさい」というお詫びの気持ち。そしてもう1つは「どうか幸せになってください」という祝福の心。この3つが含まれているのです。

孤児という言葉があります。この孤児のなかには、実は3種類の孤児があります。1番目には、両親がいないという意味での孤児です。おそらくほとんどの人は、孤児と聞くとうつろいっただけの子供を思い浮かべます。2番目には経済的な孤児です。親はいるけれど、育てることができない。父親が逃げてしまったり、あるいは母親が病気になってしまったり。何らかの理由から家庭が崩壊し、子どもたちが路頭に迷ってしまう。インドにはこういう孤児がたくさんいます。インドでは、再婚するのが非常に難しいのです。というのは、ほとんどがお見合い結婚ですから、いわゆるバツイチの人にはお見合い話を持ってきてくれる人がいません。ですから離婚したり死別したりすれば、もう家庭を築くことができません。そこで経済的な孤児がどんどん増えていくわけです。そして3番目には、精神的な孤児です。両親は揃っている。食べるものもある。それでも、自分は必要のない人間だと感じている。この世に生まれなければよかったと思っている。マザー・テレサが1番不幸だとしているのが、この精神的な孤児なのです。

こうした孤児というのは、何も子どもだけではありません。大人にだって、精神的孤児はたくさんいるでしょう。家族からも疎外され、職場でも必要とされていない。社会のなかで孤立してしまっている。実際には違っている、本人がそう思い込んでいる。そういう人たちの魂を救ってあげなさいとマザーはメッセージを送ったのです。

今の日本にも、当てはまるのではないのでしょうか？

私たちが次世代の子どもに残すべきものは、財産でも立派な家でもありません。互いにわかち合い、助け合い、補い合う心だと思います。

ロータリー活動を通じて、そのように生きていきたいものです。

人生は 一度きり

だから 一つの道を 一途に 生きてゆきたい

皆様にとりまして、次年度も素晴らしいRotary Yearになりますよう 祈念申し上げます。

幹事報告 (橋本幹事)

1. 本日の報告は1件です。

国際ロータリーより、ラーニングセンターに改善が加えられたことのご案内が届きました。

幹事挨拶 (橋本幹事)

幹事として、この一年を振り返ってみたいと思います。

ロータリークラブに入会してまだ3年しか経験のない私が、伝統ある有田RCの幹事という大役、しかも、成川会長の補佐役に任命され、上手くできるだろうかと非常に不安でいっぱいでした。そんな中で、大過なく今日の最終例会を迎えられたのも皆様の力強いサポートのお陰であります。特に事務局の高松さんには、いつも手際よく、正確に事務をこなし、至る所で幹事をフォローして頂いたので感謝の気持ちでいっぱいです。

成川年度のクラブ運営方針は「ロータリーを知ろう～温故知新～」でした。私にとってこの一年はロータリーのことを学ぶことで始まり学ぶことで終わった、まさに今年度のクラブ運営方針に沿った活動をしてきたと思います。成川会長は、今回が2回目の会長であり、地区ガバナーも経験されており、ロータリーの知識が豊富な我々有田RCを代表するリーダーです。その方と一緒にクラブの運営ができるのだからラッキーだと思い、できる限り手を抜かないでやるべきことはスピーディーを心掛けました。

一昨年の11月4日に和歌山のグルメ・ギャラリー吉野での会議から私の幹事としての仕事がスタートしました。翌年に入ってから毎月のように作戦会議を会長と行いました。クラブの運営で何をどう決めなければいけないのか全く分からない状況の中で、会長から手取り足取り教わる状況でしたが、たくさん議論し、徐々に何をどうするか理解できてきました。この一年でたくさんのことを学びましたが、ロータリーは奥が深く、まだまだこれからも学んでいかなければとの思いです。

この一年幹事の業務を通して学んだことを少し紹介させていただきます。

1) 会長の補佐をして一番参考にしなければと感じたことは、会長は全てにおいて真剣に対応されたことです。費用の整理、理事会審議事項の順番、文書の文言、案内のデザイン、参加の関与、何事においても手を抜かないで、納得いくまで検討されました。直ぐ妥協したくなる私にとっては大変参考になりました。

2) 会長が色々な情報を共有化してくれた事です。会長はロータリーの種々の役職をされているので、地区の運営にとどまらず日本やRIに関する情報を知ることができました。私にとって大変貴重なことでした。

3) ロータリーのルールを正しく理解して判断しなければいけないことです。有田RCにも定款・細則・内規があり、それらに照らして判断しなければいけないことを学びまし



た。
 実際のところ、この一年間は私にとって非常に大変でした。特に東京や静岡への出張がある週などは、例会の前日に和歌山に帰ってきて準備をしなければいけないので、当初は本当にバタバタの状況でした。また、会長は夜に仕事をされることが多いので、私も夜に家でパソコンを開いて対応する日が多かったなど懐かしく思います。
 また、この一年間、たくさんの事業を行い、それら全てが素晴らしい成功を収めることができたと思います。その中でも米山奨学生と一緒に地ノ島で行ったロータリーデーと米山記念奨学会事務局の武本さんを招いてのお月見例会は、董涛君との思い出深いイベントになりました。奨学生のカウンセラーを2年担当しましたが、今年度は幹事との二足の草鞋で無理かなとも思いましたが、忙しい中でも続けて良かったと思います。彼が米山記念奨学会の中で活躍し、今後学友のリーダーとして育っていくのを見ると嬉しい限りです。いろいろな事業を成功させることが出来た、これもひとえに皆様方の絶大なるご協力によるものだ深く感謝いたします。ほんとうに一年間ありがとうございました。

委員会報告

- * 次年度会長(上野山(栄)会長エレクト)
 7/5(木)、初例会です。皆様よろしくお願ひします。ネクタイ着用でお越しください。尚、役員・理事の皆様、11時30分より経済クラブにて第1回定例理事会を開催します。よろしくお願ひいたします。本日、次年度の組織図と創立60周年事業特別委員会の組織図をお配りいたしましたので、ご協力よろしくお願ひします。
- * 次年度社会青少年奉仕委員会(川口委員長)
 7/1(日)有田川クリーン作戦の案内

ニコニコ箱の報告 (中元SAA)

成川(守)君: 于咏様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願ひ致します。40年功労表彰ありがとうございます。本日、最終例会です。1年間会員皆様のご支援、ご協力ありがとうございました。
 橋本君: 一年間、皆様のご協力のおかげで幹事の役を務めることができました。本当にありがとうございました。
 石垣(洋)君: 成川会長、橋本幹事、一年間御苦勞様でした。40年永年功労表彰いただきありがとうございます。
 上野山(英)君: 成川会長、橋本幹事、一年間ご苦勞様でした。成川守彦さん、石垣洋介さん、40年永年功労賞おめでとうございました。
 上野山(捷)君: 成川会長、橋本幹事、一年間本当にありがとうございました。
 上野山(栄)君: 成川会長、ハンパないって!! あんなん出来へんし〜。本年度、会長・幹事役員の皆様素晴らしい年度をありがとうございました。来年度も追っかけます。

脇村君: 成川会長、橋本幹事、一年間ありがとうございました。
 松村君: 于咏さん、トウトウさん、ようこそ有田RCへお越しくださいました。成川会長、橋本幹事、一年間お疲れ様でした。
 石垣(泰)君: 最終例会、宜しくお願ひします。
 井上君: 一年間お世話になりました。
 菅原君: 成川会長、一年間おつかれ様でした。
 宮井君: 成川会長さんはじめ橋本幹事さん、理事の皆様、一年間ご苦勞さんでした。
 岩本君: 成川会長はじめ役員の皆様方、一年間有難うございました。今期は一年を通じてロータリーの知識を中心に学ばせていただきましたように感じています。
 丸山君: 成川会長一年間おつかれ様でした。色々ロータリーの研修会に行かせていただき、大変勉強になりました。ありがとうございました。
 成川(雅)君: ロータリーについてより深く学ぶ事ができました。国際奉仕委員会の皆様の御協力でとてもすばらしい一年となりました。感謝致します。
 橋爪(誠)君: 成川会長、橋本幹事、あっという間の一年間でした。ロータリーの勉強、たっぷり楽しめました。本当にありがとうございました。
 児島君: 成川会長、役員の皆様、お疲れさまでした。すばらしい感動の一年をありがとう。
 橋爪(正)君: 成川会長、橋本幹事、一年間御苦勞さまでした。
 岩橋君: 成川会長、橋本幹事、一年間御苦勞さんでした。すばらしいロータリー、ありがとう!
 嶋田(ひ)君: 成川会長、橋本幹事、一年間お疲れさまでした。大変お世話になりました。
 嶋田(崇)君: 最終例会の欠席、申し訳ありません。
 中村君: 成川会長、橋本幹事、一年間お疲れ様でした。お二人ともかつこ良かったです。本日欠席して申し訳ございません。
 川口君: 本日の最終例会、成川会長ありがとうございました。于咏さん、ようこそ有田RCへ。本日の卓話宜しくお願ひ致します。
 木本君: 皆様、一年間有難うございました。次年度もご指導の程宜しくお願ひ申し上げます。于咏様、本日の卓話宜しくお願ひします。
 児嶋君: 最終例会参加できなくて誠に申し訳ございません。一年間、成川会長、おつかれさまでした。
 中元君: 成川会長、橋本幹事、一年間おつかれ様でした。上野山栄作エレクト、嶋田崇次期幹事、次年度よろしくお願ひ致します。
 二次会参加者一同: 成川会長、一年間ご苦勞様でした。二次会みんなで楽しめました。ありがとうございました。

出席報告 (脇村例会運営委員)

本日の会員数31名
 (出席規定免除会員9名)
 出席会員数23名
 (出席規定免除会員8名)
 76. 67%
 6/7 83. 87% MU: 脇村君

卓話者紹介 (成川(守)会長)

于さんとお会いしたのは、2月4日東京で開催された「ロータリー米山記念奨学会50周年記念フォーラム」でした。彼女はパネリストとして出席され、私はそのスピーチを聞いて是非卓話をお願いしたいと思いました。しかし、お仕事があるので和歌山までは夜でないと行かれないということで、今日になりました。プロフィールを紹介します。

履歴:

- 1996年9月～1997年12月 来日 愛知淑徳大学留学生別科
- 1998年4月～2002年3月 名古屋大学教育学部
- 2002年4月～2008年3月 名古屋大学大学院教育発達科学研究科
- 2008年4月～2016年7月 学校法人セムイ学園(医療・福祉・リハビリ)専任講師、課長
- 2016年8月～現在 ジブラルタ生命保険株式会社 名古屋中央支社 名古屋中央第十四営業所 所長

専門:心理学博士

米山歴:

- 2005年4月～2007年3月 ロータリー米山奨学生: 世話クラブ:名古屋中RC
- 2008年9月～現在 ロータリー米山学友会(愛知)
- 2014年5月～現在 愛知ロータリーEクラブ 創立会員
- 2015年7月～2018年6月 第二代よねやま親善大使
地区ロータリー財団委員会委員、地区学友委員会委員、地区計画・戦略委員会委員 第7回米山功労者

三年間、よねやま親善大使として、17地区で70回も超える講演(年間、24回:月に2回)。今日は、何回目ですか?そのため次年度からは、お呼びするクラブが旅費を持つことになりました。

よねやま親善大使退任にあたり于 咏さんの言葉:
「自分は大使を卒業しますが、奉仕の人生をこれから本格的に始めます。」

今日は、「報恩・奉仕・繁栄」という演題で卓話をいただきます。

卓話

「報恩・奉仕・繁栄」



よねやま親善大使
于 咏(ウエイ)様

飲水思源 原点回帰




- 日本ロータリーの創設者 **米山梅吉**翁の遺徳を記念して誕生
- 1952年東京RC会長 **古沢文作**氏が「米山基金」を提案

日本ロータリアンの夢

- 将来の日本の生きる道は**平和**しかない
- 平和**日本を肌で感じてもらうしかない
- 国際親善と世界**平和**に寄与したい



世界で活躍する米山学友

<p>・崔 相龍 (第14代)</p> <p>1970-72年 東京大学大学院</p> 	<p>・権 哲賢 (第18代)</p> <p>1984-87年 筑波大学大学院 佐野東RC</p> 
--	--

**日本と韓国の懸け橋
2名の元駐日韓国大使**

世界で活躍する米山学友

<p>・林 華明</p> <p>1984-86 慶應義塾大学大学院 東京世田谷RC 2003-04 RI会長賞受賞 2015-16 3520地区 ガバナー</p> 	<p>・ジャンチブ・ガルバドラッハ</p> <p>1998-99 山形大学大学院 山形北RC キューレウランバートルRC会長 モンゴル屈指の 高校を設立</p> 
--	---

恩をかたちに

- 台湾学友会**— 台湾に留学する日本人学生に奨学金を支給
- 韓国学友会**— 米山学友だけの衛星クラブを設立
韓国に留学する日本人学生に奨学金制度を開始
- 中国学友会**— 貧困地区の小学校に図書などを寄贈
- タイ学友会**— 海岸清掃、養護施設支援、熊本震災義捐金
- ネパール学友会**— ネパール大地震で被災した子供へ教育支援
- モンゴル学友会**— 日本人墓地での植樹
日本の「家庭の医学」を翻訳し、配布

ロータリアンになる

順番	国籍	人数
1	台湾	80
2	韓国	64
3	中国	44
4	マレーシア	5
5	バングラデシュ	4
	ネパール	4
	ミャンマー	4
6	スリランカ	3
7	インド	2
	インドネシア	2
	モンゴル	2

- ロータリアンになった学友 **227人**
- 日本のRCに所属の学友 **約100人**

米山奨学事業に寄付

氏名	国籍	大学/世話クラブ	寄付額
姫 軍	中国	東京大学大学院 東京臨海RC 1995-1997	2007年～ 50万円/年 累計: 5,000,000円
張 虞安	中国	近畿大学大学院 交野RC 1998-2000	生涯1,000万円寄付が目標 累計: 1,640,000円
清野 允中	台湾	名古屋工業大学大学院 江南RC 1990-1992 愛知ロータリーEクラブ会員	2009年～ 1万円/月 累計: 1,000,000円

米山学友からの寄付は、総額3,000万円を超えました！

インド・デリー サウ
スメトロポリタンRC

インド・リシケシュRC

キプロス・ニコシアRC

世界中の
ロータリー
アンに、
米山をPR

報恩・奉仕・繁栄

- 報恩: 恩を知る、感謝の気持ちを持って、恩返しをする。
- 奉仕: 職業を通じて、人々のため、社会のためになる。
- 繁栄: 報恩と奉仕を実践することによって、自分、会社、社会の繁栄を目指す。

感謝

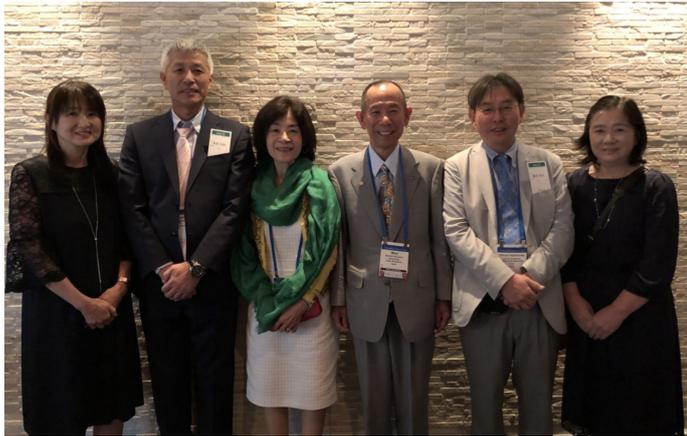
人間の生きる目的

- 自ら成長すること
- 人々に尽くすこと
- ロータリーはその集大成である



トロント国際大会 6/24~6/27

当クラブから、成川守彦君、橋本拓也君、菅原佳典君が参加されました。トロントから楽しい写真がたくさん届きましたので掲載します。



国際大会の分科会「規定審議会」に成川会長が出席